

受付印	<input type="checkbox"/> 特別代理人 <input type="checkbox"/> 臨時保佐人 選任申立書 <input type="checkbox"/> 臨時補助人
収入印紙 800円	この欄に収入印紙800円分をはる。
予納郵便切手 円	

準口頭	基本事件番号	平成・令和	年(家)第	号
-----	--------	-------	-------	---

長崎家庭裁判所 (<input type="checkbox"/> 支部・出張所) 御中 令和 年 月 日	申立人の 署名押印 又は記名押印	印
--	------------------------	---

添付資料	申立人・本人の住民票又は戸籍附票	各 通
	候補者の住民票又は戸籍附票, 承諾書	各 通
	(遺産分割目的の場合) 遺産分割協議書案, 遺産の評価額が判明する資料	各 通
	(抵当権設定目的の場合) 抵当権設定契約書案, 金銭消費貸借契約書案	各 通
	保証委託の場合は保証委託契約書案, 不動産全部事項証明書	各 通
※住民票や不動産全部事項証明書については、すでに提出され、変更がない場合は添付不要です。		
※このほかの資料の提出をお願いすることがあります。		

申立人	住所	〒 ー	
	電話番号 ()	携帯電話 ()	
	フリガナ氏名	大正・昭和・平成 年 月 日生	
本人との関係	1 後見人・保佐人・補助人 2 利害関係人 3 その他 ()		
本人	本籍		
	住所	〒 ー	
	フリガナ氏名	大正・昭和・平成 年 月 日生	

(注) 太枠の中だけ記入してください。

申 立 て の 趣 旨

- 特別代理人 臨時保佐人 臨時補助人 の選任を求める。
 (手続費用は、被後見人・被保佐人・被補助人の負担とすることを求める。)

申 立 て の 理 由

利益相反する者	利益相反する行為の内容
1 後見人と被後見人との間で利益相反する。	1 被相続人亡.....の遺産を分割するため (被相続人の死亡日 平成・令和 年 月 日)
2 保佐人と被保佐人との間で利益相反する。	2 被相続人亡.....の遺産を放棄するため (被相続人の死亡日 平成・令和 年 月 日)
3 補助人と被補助人との間で利益相反する。	3 被後見人・被保佐人・被補助人の所有する物件に、 <input type="checkbox"/> 抵当権 <input type="checkbox"/> 根抵当権 を設定するため
4 その他	4 その他 ()
	(その詳細)

候補者	住所	〒 -	
		電話番号 ()	携帯電話 ()
	フリガナ 氏名	大正・昭和・平成 年 月 日生	
	本人との 関係	職業	

(注) 太枠の中だけ記入してください。

特別代理人・臨時保佐人・臨時補助人選任申立事件（本人 ）

承 諾 書

- 1 私の職業は、 です。
- 2 本人と私の関係は、 です。
- 3 本人及び申立人に対する債権・債務はありません。また、今回の法律行為により、私自身について、法律上の利害関係が生じることはありません。
- 4 私は、成年被後見人、被保佐人、被補助人、破産者のいずれにも該当しません。
- 5 今回、特別代理人・臨時保佐人・臨時補助人が行う予定の法律行為の内容は、
にレ点を付したものです。
 - ① 遺産分割協議書案のとおり、被相続人亡.....の遺産を分割する。
 - ② 本人が、被相続人亡.....の相続を放棄する。
 - ③ 債務者.....が金.....円を借り入れるにあたって、本人所有の不動産に、抵当権（根抵当権）を設定する。
 - ④ その他（その内容を具体的に書いてください。）※余白が足りないときは、別紙を用いて下さい。
- 6 特別代理人・臨時保佐人・臨時補助人が前記5の内容の法律行為を行うのが必要であり、かつ、相当であると考え理由は、にレ点を付したものです。

（上記5で①にレ点を付した場合）

- 遺産分割協議書案では、本人の法定相続分がほぼ確保されている。
- 遺産分割協議書案では本人の法定相続分は確保されていないが、今後、本人は、共同相続人である.....に扶養されることになる。
- 遺産分割協議書案では本人の法定相続分は確保されていないが、遺産が不動産のみであることから、被相続人の配偶者が相続するのが相当である。
- その他（その内容を具体的に記載してください。）※余白が足りないときは、別紙を用いて下さい。

（上記5で②にレ点を付した場合）

- 本人が、被相続人から生前に贈与を受けている。
- 被相続人の遺産が、債務超過になっている。
- 被相続人の遺産の内容が不明である。
- その他（その内容を具体的に記載してください。）※余白が足りないときは、別紙を用いて下さい。

(上記5で③にレ点を付した場合)

- 本人が現住している自宅のローンを担保するための法律行為である。
- 本人を扶養する成年後見人・保佐人・補助人の財産を保全するための法律行為である。
- その他(その内容を具体的に記載してください。) ※余白が足りないときは、別紙を用いて下さい。

(上記5で④にレ点を付した場合は、その理由を具体的に記載してください。)

※余白が足りないときは、別紙を用いて下さい。

- 7 私は、下記の特別代理人・臨時保佐人・臨時補助人の義務を理解したうえで、特別代理人・臨時保佐人・臨時補助人に就任することを承諾します。

令和.....年.....月.....日

住所.....

電話番号.....

氏名.....印.....

特別代理人・臨時保佐人・臨時補助人の義務

特別代理人・臨時保佐人・臨時補助人は、本人の利益を保護するために、善良なる管理者の注意をもって(自分の財産を処分する場合の注意よりも高度の注意をもってという意味です。)事務を処理すべき義務を負います。この義務に違反した場合には、本人に対して、損害賠償責任を負うことがあります。

なお、特別代理人・臨時保佐人・臨時補助人の職務自体は、審判によって定められた行為の終了とともに終わります。